

令和8年10月14日

四国中央市大規模下水道修繕設計施工一括業務に係る公募型プロポーザル 質問回答書

No	該当資料名	頁	行	質問事項	回答
1	(様式4) 共同企業体協定書	1	第5条 (構成員の住所及び名称)	「本社」及び「委任先」のうち、どちらを記載すればよいか、ご教示ください。	入札及び契約等の権限を支店や営業所に委任している場合は、委任先の住所及び名称を記載してください。 なお、令和7・8年度四国中央市建設工事等入札参加資格審査申請書（建設工事、測量・建設コンサルタント等）を提出している者又は令和8年10月9日（金）までに提出する者であり、参加表明書の提出期限までに入札参加有資格業者名簿に登載されているものである必要があります。
2	(様式4) 共同企業体協定書	3	最終行の記名捺印箇所	「本社」及び「委任先」のうち、どちらを記載すればよいか、ご教示ください。	入札及び契約等の権限を支店や営業所に委任している場合は、委任先の住所及び名称を記載してください。 なお、令和7・8年度四国中央市建設工事等入札参加資格審査申請書（建設工事、測量・建設コンサルタント等）を提出している者又は令和8年10月9日（金）までに提出する者であり、参加表明書の提出期限までに入札参加有資格業者名簿に登載されているものである必要があります。

3	全般			弊社では、本案件の公告以降、JV を組織し、仕様書、設計図書、貸与図書等を精査して参りましたが、指定されている要求水準○履行期間○提案上限額○工事内容(延長、工法、工事目的物等)○確保流量○品質等、全てを満足することは困難であるとの結論に至っております。しかし、地域を守るためにも補修すべき事案であることは十分に認識しております。つきましては、何(履行期間、提案上限額・・・)が必須の遵守事項で、何が提案可能な事項かご教示いただきたい。	お問い合わせの履行期間と提案上限額は必須の遵守事項です。ご提案いただきたい内容については、実施要領 6 ページに記載している企画提案書の記載内容の項目をご確認ください。 また、要求水準書 4 ページに数量を満たすことができない場合の提案方法について記述していますので、ご確認ください。
4	企画提案実施要領 13.企画提案書等の提出 13 (1) 企画提案書及び価格提案書の提出期限	6	16	企画提案書および価格提案書の提出期限について、現在提示されている令和 8 年 10 月 29 日(木)では、提示資料の精査や発注者様の要求水準(性能および金額)を満たす最適な提案を作成することが極めて困難な状況です。つきましては、熟考した質の高い提案を作成するため、提出期限の延長をご検討いただくことは可能でしょうか。また、より確実な提案書を作成するにあたり、現地状況を把握するための現場確認(函渠内調査)を実施したいと考えておりますが、ご対応いただくことは可能でしょうか。 (提案書提出時期未定)	企画提案書および価格提案書の提出期限の延長はできません。実施要領に記載の期限までにご提出ください。 また、現地確認について、管渠内の調査は認められません。ご提案いただく際の調査時間の短縮のため、特別重点調査時の調査映像や 3D スキャンデータを含む調査全データを申請いただいた上で貸与しておりますので、有効にご利用いただきますようお願いいたします。

5	企画提案実施要領 2.業務概要(3)履行期間業務①	1	16	業務①の履行期間につきまして、令和9年2月26日（金）までと設定されておりますが、選定スケジュールにおける契約締結予定日は令和8年11月下旬となっております。 要求水準書（P.14～16）に基づく調査・設計および検査完了後の工事着手を想定した場合、以下の工程を要すると見込んでおります。 調査・詳細設計および各種申請手続き・検査等：約6か月以上、更生材料の手配（発注から納品まで）：約3～4か月、施工計画書作成・施工・検査等：約6か月以上、これらを勘案いたしますと、指定の契約締結日から履行期限までの期間（約3か月）では、標準的な工期の確保が極めて困難な状況でございます。 つきましては、適切な品質管理および安全施工を確保するため、履行期間の大幅な延長は可能でしょうか。	本公告において、履行期間の変更（延長）はできません。
6	企画提案実施要領 2.業務概要(4)提案上限額	1	19	本業務における上限額は 268,024,900円（消費税込）と設定されておりますが、契約履行および施工に関して以下の2点についてご教示ください。 1.不可抗力・不可見要因への対応 施工段階において、事前調査で予見できない現地状況の変化や想定外の要因等により工事費が増額となった場合、設計変更等による請負代金額の増額変更は可能でしょうか。	1.要求水準書18ページから20ページに受発注者間のリスク分担について、概念を示しています。また、応募者の提案に基づきリスク分担の在り方を見直すこととしていますので、現時点で想定しているリスクがございましたら、ご提案ください。 ご提案をいただいた工法を変更する場合、提案上限額を超過する請負金額の増額変更はできません。

				2.提案工法による増額への対応 提案する工法や技術的工夫に伴い、概算費用が設定された上限額を超過する場合、その妥当性・合理性が認められれば変更（増額）のご協議は可能でしょうか。	せん。 2.ご提案いただく工法は、提案上限額以内に収まるものをご提案ください。
7	企画提案実施要領 2.業務概要(4)提案上限額	1	21	業務①（管更生工）および業務②（修繕工）において、それぞれ個別の上限額が設定されていますが、履行にあたり以下の点についてご教示ください。 事業推進の過程において、現地状況の変化や更生・修繕範囲の見直し等により、当初の前提条件に変更が生じる可能性がございます。 その際、緊急性や施工効率、工事全体の目的達成の観点から合理性が認められる場合、業務①と業務②の事業枠組みや費用（上限額）を柔軟に相殺・調整するなど、一体的に運用・運用変更を行うことは可能でしょうか。	業務①および業務②はそれぞれ個別の業務として上限額を設定しているため、業務間の費用（上限額）の相殺や一体的な運用・運用変更を行うことはできません。
8	四国中央市大規模下水道修繕設計施工一括業務（要求水準書） 3 設計要件 （1）前提要件	6	26	要求水準書および現場条件等に関する確認について（管路番号11828他） 要求水準書の記載事項および現地条件につきまして、以下の通り確認およびご質問させていただきます。 1. 補修対象範囲について 管路番号11828の上流端に位置する11927MH（緊急度Ⅱ）に対する補修作業は、本業務の対象範囲外という認識でよ	1.ご認識のとおりです。

			ろしいでしょうか。 2. 「人孔」の用語の定義について 要求水準書に記載されている「人孔」の定義についてご教示ください。独立したマンホール構造のみを指すのでしょうか。あるいはボックスカルバート等の函渠上部に設置された「点検孔」も含まれるのでしょうか。 3. 放流水量の扱いについて 「放流水量は約660m³/h」との記載につきまして、本水量は「計画時間最大放流量」と「実績における1時間あたり最大放流量」のどちらを指しているのでしょうか。 4. 放流停止および処理場内の仮設利用について 「放流は1日あたり約3時間停止することが可能である」との記載について、以下の2点をご教示ください。 放流を停止できる時間帯に指定や制約はございますでしょうか。 放流水の切廻しの対応として処理場内に仮設排水ポンプを設置し、海洋へ圧送排水することは可能でしょうか。（処理場敷地内の仮設使用の可否について） 5. 仮締切工の施工範囲および撤去について 「潮位の影響を考慮し、必要な仮設工（締切排水工等）を見込むこと」との記載について、以	2. 「人孔」の定義については、独立したマンホール構造およびボックスカルバート等の函渠上部に設置された点検孔を含みます。 3. 実績における 1 時間あたり最大放流量を指します。 4. 放流を停止できる時間帯に指定や制約はありません。停止する際は、事前に浄化センター管理者との調整が必要となります。 また、放流水の切廻しの対応として処理場内に仮設排水ポンプを設置し、海洋へ圧送排水することは可能です。浄化センター敷地内において仮設工を実施する際は、事前に浄化センター管理者との調整が必要となります。 5. 仮締切工の設置位置や施工箇所に指定・制限はありません。 また、当該仮設工は業務①の完了後に撤去する
--	--	--	---	--

				下の2点をご教示ください。 ・仮締切工の設置位置や施工箇所指定・制限はございますでしょうか。 当該仮設工は、業務①の完了後に撤去する認識でよろしいでしょうか。	認識でかまいません。
9	要求水準書 表 2-1	8		更生工法および施工方法の選定方針に関する確認について 仕様書（または要求水準書）記載の管更生工法一覧表に関連し、採用可能な工法について以下の2点をご教示ください。 1. 工法の適用可否について 既設函渠内にさや管等を挿入し、要求水準を満たす管きよを構築するさや管工法につきまして、管更生工法の一つとして選定・提案することは可能でしょうか。又、既設BOXについては、有効設計水量は何%でしょうか。 2. 開削工法の比較検討案としての採用可否について 既設函渠の頂版（床版）等を撤去し、開削工法により新設管を布設する案につきまして、技術的・経済的比較検討における比較案（代替案）として提示することは認められますでしょうか。	1.要求水準書 3 ページから 4 ページに記載していますとおり、表 1-1 は概要であり、ご提案に基づき構造物の構造形式や主要諸元を含めて見直しは可能としています。 断面縮小を伴う工法については、対象路線の流量に対して、必要な流下能力を満足する構造としてください。 2.工法の採用可否について、技術的・経済的比較検討を行い、代替案として提示することは可能です。

10	要求水準書 業務② ア	9	2	要求水準書に「断面修復の施工範囲を適切に設定すること」と記載されておりますが、本業務の実施設計（詳細調査等）を行った結果、断面修復の施工延長や施工面積に変更が生じた場合、請負代金額および履行期間の「設計変更」の対象となりますでしょうか。	実施設計の結果、施工内容に変更が生じた場合、要求水準書別紙リスク分担表（案）に基づき、発注者との協議の上、設計及び施工内容の変更について決定します。 請負金額について、提案上限額を超過する変更はできません。履行期間について、変更（延長）はできません。
11	要求水準書 2 耐震性能	10	11	耐震性能ですが、対象路線は「重要な幹線等」に該当するということでしょうか。	ご認識のとおりです。
12	要求水準書 2 設計に関する仕様 (1)共通 イ 審査及び検査 (1)（イ）	15	8	特記仕様書に「受注者は工事着手の14日前までに設計成果物を提出し、設計完了時に発注者の検査を受けること」と記載されております。 全体の工期短縮および円滑な施工推進を図る観点から、全工種の設計完了を待たず、工種ごと（あるいは段階ごと）に成果物の提出・検査を受け、合格した工種から順次工事着手（部分着手）することは可能でしょうか。	設計完了した区間から成果物の提出・検査を受け、合格したものから順次工事着手することは可能です。

13	その他			1.管更生工は下水道標準歩掛にありますが、それ以外の実施設計歩掛はその他の協会等の歩掛を採用されていますか。その場合は採用されている歩掛をご教示いただけますでしょうか。 2.構造計算、耐震計算に必要な地質調査資料はありますでしょうか。ない場合は本業務で実施する必要がありますでしょうか。 3.浄化センター内の水位を示す資料はありますでしょうか。また、浄化センターから放流渠への排出方法は自然流下、ポンプ圧送のどちらでしょうか。 4.管路番号11828、11829の形状は2500×2500とされていますが、水路幅は鋼矢板の中心寸法、内寸法のどちらでしょうか。	1.歩掛等の採用情報については、お答えできません。提案される工法や技術・ノウハウに基づき、提案者側において積算の上、ご提案ください。 2.川之江浄化センター内で実施した下記既往地質調査資料について、本公募ホームページで追加掲載いたしますので、ご参照ください。 ・令和4年度地質調査資料 ・昭和49年度地質調査資料 上記資料をもとにご提案ください。 3. 浄化センター内の水位を示す資料はありません。また、浄化センターから放流渠への排出方法は自然流下です。 4.水路幅は鋼矢板の内寸法です。詳細は貸与します 3D スキャンデータによりご確認ください。
----	-----	--	--	---	--